



# 武蔵野

学校だより NO.5  
令和6年 9月号  
昭島市立武蔵野小学校  
校長 大河原 博



武蔵野小 HP

## 2学期が始まりました

校長 大河原 博

夏休みも終わり、静まりかえった学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。皆様のご家庭ではどのような夏休みだったでしょうか。

今年の夏も、例年以上に暑く、どのようにしたら熱中症にならずに過ごせるか、様々な工夫をしながら42日間過ごしたことと思います。また、ゲリラ豪雨や台風の心配など、常に自らの身を守る意識を高めることが求められる夏でもありました。幸い夏休み中に子どもたちに大きな事故の報告もなく、保護者の皆様、地域の皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。今秋はしばらくの間、関東地方にも暑い空気がとどまる予報が出ており、まだまだ暑い日が続くそうです。学校では10月12日の50周年記念運動会に向けての練習も始まります。校内でも熱中症対策WBGTの数値を確認したり、水分補給や休憩をとったりするなど工夫をして参ります。2学期も引き続きご協力よろしくお願いいたします。



この夏も、甲子園、大リーグ大谷翔平選手の40-40達成など、たくさん感動をいただきました。私が特に感動したのはパリ2024オリンピック大会です。もちろん東京2020オリンピック・パラリンピック大会も素晴らしいものでしたが、大きな違いは有観客での実施ということです。パリ五輪のテーマとして掲げられたのは「広く街に開かれた大会」でした。試合会場で競技に熱狂している観客の声、歴史遺産、文化遺産をバックに世界中から多くの人々が集い、共にアスリートの活躍を称える姿は、スポーツを通して世界の人々が一つになる感動を一層強く感じさせてくれました。

様々なドラマがあったオリンピックですが、最も印象に残ったのは、大会2連覇を期待されていた女子柔道52kg級阿部詩選手の敗退のシーンです。2019年11月の「グランドスラム大阪2019」以降負けなしの絶対女王である詩選手の2回戦敗退は、今大会最大の番狂わせの一つでした。その瞬間の呆然とした彼女の顔が、今でも目に焼き付いている方も多いのではないのでしょうか。武道家らしく終わりの礼はするものの、その表情からは「これは現実なの？夢なら覚めて。」という心の声が聞こえそうなほどの混乱が伝わってきました。その後、暈を降りてから泣き崩れる姿と悲痛な号泣からは、これまでの正に血のにじむような努力の日々と計り知れない重圧と戦ってきたことが痛いほど分かる気がしました。もし自分が身近な人物としてそこにいたら、自分には何ができるのだろうと胸が締め付けられる思いがしました。

そんな中、会場からは詩選手に対する拍手と「詩コール」が自然に沸き起こりました。国際大会としては異例なことなのでしょうが、柔道に精通したフランスのファンはじめ、会場にいる誰もが彼女のこれまでの頑張りを知っており、それを称えているようで目頭が熱くなりました。メダルという結果は得られませんが、それまでの努力とプロセスは確実に阿部詩選手を成長させ、次のステップへと導いてくれることでしょう。

人の成長には結果の評価も大切ですが、それ以上に努力を価値付けていくことが大切です。学校でも子どもたちの努力に目を向けて参ります。

### すまいるカード

保健主任

9月8（日）から6日間は「すまいるカード週間」です。朝の時間に余裕があると親子共に笑顔で過ごすことができます。

そうすることで心と体が整い「やる気」が生まれ、1日の充実度が上がります。朝から力を発揮できるように家庭と学校で一緒に協力して取り組みましょう。



### 【9月の生活目標：規則正しい生活を送ろう】

2学期が始まり、夏休みの生活ペースから戻るのが難しい子どもたちもいるかもしれません。まずは、早起きが大切です。「グッドモーニング60分」から始めましょう。家を出る60分前に起床できるようご家庭でもご協力ください。また、6日に配布する「すまいるカード」もご活用ください。

今年度、武蔵野小では8:25までに登校できない子どもの数が激減し、学習でも生活でもとてもよい傾向が表れています。2学期もゆとりをもって登校し、充実した学校生活のスタートがきれるように、意識させていきたいと思っております。